

## 「政策・制度」は連合運動の重要な柱 -「労働政策セミナー・政策討論集会」開催-



写真上 講師:河越正明さん



講師/湯原俊二さん



### 政策討論集会で提起する役員



左より/田中 穂事務局長 寺谷 昭人執行委員 佐貫 馨副会長  
米村 徹執行委員 里田 斉昭執行委員

労働政策セミナーの様子(倉吉未来中心・セミナールーム3)

民主党鳥取県連・湯原副代表は、「太平洋戦争は『資源の少ない日本は植民地支配の侵略をしなければならぬ』と粘り強く何回も国民に説得しつつ、強行に戦争をしむける方向に追いやった。結果、侵略戦争・自衛戦のためにアジア諸国の人に多大の侵害と苦痛を与えてしまった。今、同じことを国民の理解のないまま強行に、安倍政権が行おうとしている。このような戦争法案を廃案に持つて

### ※政治情勢報告

「海外景気の下振れや金融資本、商品市場の動向等に注視する必要がある。」と訴えました。

講師の河越さんは「経済の現状は緩やかな景気回復基調が続いている。経済の好循環を確かなものとするためには、賃金上昇を定着させるとともに投資を促進するための環境整備に取り組みることが必要であり、その取り組みにより、雇用・所得環境が改善し、好循環がさらに進展するとともに、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれる。」と説明しました。(下記実質賃金の動きグラフ参照)

### ■労働政策セミナー

※講演「日本経済の現状と課題」

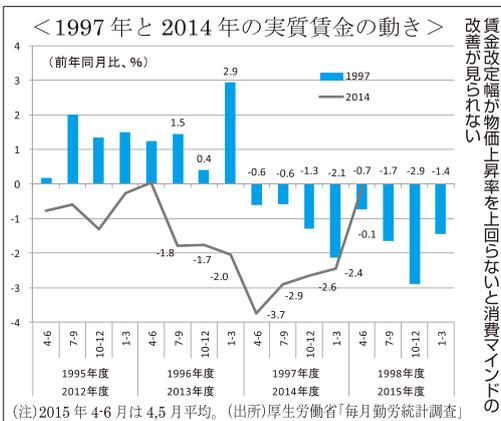
7月11日(土)、倉吉未来中心に組合員と連合鳥取推薦議員の143人(内、女性10人・参画率7%)が集い、連合総研主任研究員・河越正明さんを講師に迎えた講演会、民主党鳥取県総支部連合会副代表・湯原俊二さんによる政治情勢報告の「労働政策セミナー」と、「2016連合鳥取政策・制度要求」について討論する「政策討論集会」を開催しました。

いかなければならない。」と安倍政権に強く抗議しました。

### ■政策討論集会

「連合鳥取2016年度重点政策31項目」について、田中穂事務局長(連合鳥取事務局長)が要点を絞って説明し、あわせて、要求の作成意図・経過などについて担当責任者の佐貫副会長、寺谷委員、米村執行委員、里田執行委員が説明しました。

今後、「第8回(拡大)執行委員会」で成案を得た後、8月に鳥取県知事へ要求し、その後、具体的対応について部局交渉を実施することとなります。



## 連合鳥取2016年度政策・制度要求—鳥取県への要請事項—決定!

「第8回(拡大)執行委員会(2015.7.16開催)」で決定した「要請事項」は別紙をご参照ください

—楽しく作って&美味しく食べて&WLB話し合い—

# —女性委員会「産別交流会」を開催—



7月12日(日)、伯耆しあわせの郷(倉吉市)において、連合鳥取女性委員会主催の「産別交流会」を開催しました。各産別より28人が参加し、「米粉を使った料理作り(ベーグルパン)」をグループに分かれて実施し、試食しながらグループワークを行いました。

### ✳ベーグルパン作り✳

ものづくり道場の陰山さん、宍戸さん、竹森さんの3人の方にお手伝いいただきながら、どのグループも楽しく実施することができました。

### ✳グループワーク✳

WLB(ワーク・ライフ・バランス)について話し合いを行い、WLBの実現に向けて自分たちで実践できることは何かを考えたり、自分の生活を見直すよい機会になったのではと思います。



普段は他の産別の方と話す機会も少ないため、みなさんにとって貴重な体験となったと思いますし、今後の各産別での活動に活かしていただけたらと思います。(寄稿 女性委員会副委員長 柳原静香さん)

## ご存知ですか? 「連合鳥取第3次男女平等参画推進計画」⑰



＊男女ともに働きやすい職場とするために＊

### JA鳥取労連女性部として活動しています

前号に続き、6月20日の「男女平等参画学習会」で発表された産別報告からの紹介だよ!  
今回は「JA鳥取労連(全国農団労)」の活動状況を紹介しますね。

方針①女性に関連する法制度活用の取り組み ②学習・宣教活動 ③環境活動・食農教育の取り組み

### ポジティブアクションの強化

学習会の参加要請で、単組に対して女性が50%を占めるよう要請

★初めての取り組み!

<結果>参加者30人 中女性7人(約23%)

### 男女平等参画と

#### 組織・労働・政策課題の一体的な取り組み

女性部独自でアンケート調査や

座談会を実施して意見を集約

春闘・秋闘時に女性部からの要望書を県本部に提出

### 人材育成&ネットワークづくり

- 連合鳥取女性委員会に参画
- 連合鳥取・産別の学習会&集いに積極的に参加
- 女性部役員&単組の女性執行委員を対象とした学習会でスキルアップ
- 女性のエンパワメント促進をめざす学習交流会の実施(対象:女性組合員/年1回開催)



定期大会の様子

## 組織拡大&若年層対策は世界共通の課題

# —国際労働財団(JILAF)ユーラシアチーム11人来鳥—

7月14日(火)~15日(水)、JILAF(国際労働財団)が招聘した労働組合の若手リーダー「ユーラシアチーム」(アゼルバイジャン共和国、ベラルーシ共和国、ジョージア、カザフスタン共和国、モルドバ共和国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国)が、鳥取を訪問しました。

1日目は、ハローワーク鳥取視察、鳥取県庁表敬訪問(懇談)、連合鳥取との意見交換会を実施しました。

参加者の多くが青年担当、女性担当、組織拡大担当であったこともあり、連合鳥取との意見交換会では、①組織拡大に向けた取り組み方法、②35歳までの労働者や女性組合員の実状と組合員化、などについて質問がありました。

2日目は、フード連合加盟の大山乳業農業協同組合の工場見学と、労働組合役員との意見交換会を実施しました。

### ※国際労働財団(JILAF)とは

労働分野における国際的な交流と協力を推進するための機関として1989年5月に「連合」が設立。



ハローワーク鳥取にて



鳥取県庁にて



連合鳥取との意見交換



大山乳業農業協同組合工場見学・労働役員との意見交換

# 「安保法制は憲法違反」炎天下 約400人が訴える!

—民主党とともに「怒りの『安保法制反対』集会」開催—

現在国会では、「安全保障関連法案」をめくり審議が続いています。連合は、この度、衆議院で「安全保障関連法案」が強行採決されたことに対し、「憲法及び国の基本政策に関わる重要課題であり、国民の理解と合意形成の努力が求められてきたにもかかわらず、十分な審議を尽くさず強行採決という暴挙に出たことは極めて遺憾であり強く抗議する。国会会期にこだわることなく、オープンかつ徹底的な議論を十分な時間をかけ行うことを強く求める。国会審議における民主党の政府・与党追及の動きを支え、国民目線での分かりやすい議論を促し一層の世論の喚起を図っていく。」と、法案に反対する立場から対応することとしています。

### 連合の基本スタンス

- ・自衛権は独立国家の固有の権利である。
- ・自衛隊は専守防衛、徹底したシビリアンコントロール、非核三原則を前提とする。

—連合政治方針より—



7月26日(日)、JR鳥取駅前風紋広場で開催された集会には鳥取県内各地から労働組合員やOBのみなさんが駆けつけました。また、民主党の長妻昭代表代行も参加し「本法案は制限がかからない状態で自衛隊が地球の裏側まで行ってしまう法案である。国民は不安に思っている。」と訴えました。連合鳥取の五十嵐美知義会長も「軍力は抑止力にならず、平和や安全を担保しない。憲法違反の法案は許せない。」と強く抗議しました。

その後、参加者全員で「安倍総理は憲法を守れ!」「安保法案反対!」などと汗を流しながら、とりぎん文化会館前までデモ行進しました。

引き続き、とりぎん文化会館会議室で実施された「長妻は吠える!安保法制反対」と題した講演会にも多くの組合員のみなさんが参加しました。



## 西部地協「怒りの大決起集会」に1200人参加

安全保障関連法案が衆議院特別委員会で可決された7月15日(水)、西部地域協議会は法案の廃案を求め、米子市文化ホール前広場で反対集会を開催しました。

集会では、中島ちから議長が「国民の8割が説明責任が果たされていないと言っている法案が強行採決された。」と抗議の意を訴えました。

その後、プラカードなどを手に、「安保法案を撤回せよ!」「平和主義を守れ!」などとシュプレヒコールで訴えながら米子市街をデモ行進しました。



夏休み恒例!

## 親子ものづくり教室を開催

—連合鳥取金属部門連絡会—

連合鳥取金属部門連絡会は、7月26日(日)に第3回「親子ものづくり教室」を鳥取県職業訓練センター(ポリテクセンター鳥取)にて開催しました。

同連絡会は、ものづくり産業に携わる電機連合・JAM・自動車総連の3産別で構成しており、活動の一つである「親子ものづくり教室」は、日本のものづくり産業の発展に向けて、ものづくり産業の魅力を子どもたちに伝え、「ものづくり」の大切さや楽しさを実感してもらうことを目的に開催しています。

今年度は「ペットボトルソーラーカー」に26組、「木工時計」に15組の参加をいただき、合計82人の親子に参加いただきました。

「ペットボトルソーラーカー」は空ペットボトルを利用したソーラーカーで、同連絡会役員が講師となり製作指導しました。ギアの組立やモーターとソーラーパネルの配線など、慣れない作業ではありましたが、組み立てが完了し、ソーラーカーが走ると歓声が沸き上がり、ものづくりの楽しさを実感することができました。

「木工時計」では、角ノミやボール盤など、普段見ることも触ることもない機械に戸惑いながらも、木枠が完成した後の色付けではそれぞれが個性溢れるデコレーションを行い、世界に1つしかない自分だけの時計を作ることができました。

(寄稿 連合鳥取金属部門連絡会 事務局長 河村正之さん)



# Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

## 第40回人権尊重社会を実現する鳥取県民集会

◇開催日 2015年8月7日(金)  
 ◇開催場所  
 全体会場 / メイン: とりぎん文化会館 梨花ホール  
 サブ: とりぎん文化会館 小ホール  
 分科会場 / とりぎん文化会館 梨花ホール 他8会場  
 40周年記念座談会 / 県民ふれあい会館ホール

## 連合鳥取労組リーダーセミナー / 連合・古賀会長来たる!!

◇日時 2015年8月22日(土)10時00分～16時00分  
 ◇場所 伯耆しあわせの郷・大会議室  
 ◇内容  
 ①講演 「政治情勢と労働組合がなぜ政治活動を行うのか」  
 講師 / 民主党鳥取県総支部連合会副代表 湯原俊二さん  
 ②基調講演 「労働運動の現状と課題」(仮題)  
 講師 / 連合 古賀伸明会長  
 ③グループ討議

参加者募集中

## 連合鳥取2016年度政策・制度要求知事要請行動

◇日時 2015年8月7日(金)11時30分～  
 ◇場所 鳥取県庁

## 平和行動in長崎

◇開催日 2015年8月8日(土)～9日(日)  
 ◇場所 長崎県立総合体育館他  
 ◇内容 被爆70年  
 「連合2015平和ナガサキ集会」  
 &ピースウォーク



## 第24回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会

◇開催日 2015年9月26日(土)  
 受付開始 / 7時00分～  
 スタート / 7時39分  
 ◇開催場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部  
 ◇規模 100人  
 ◇プレー費 8,000円(各自負担)  
 ◇参加費 3,000円(当日、受付で徴収)  
 ◇申込め切 8月17日(月)連合鳥取必着



参加者募集中

※現在、産別・直加盟組織事務局を通じてご案内しています。積極的なご参加をお願いします。

# “ザ・議員”

## 椋田 昇一

鳥取市議会議員

-活動報告-

- ① 私が一般質問で提案したトイレマップが作成されました。設備が整わないと、生きるために誰もが行う排泄行為ができない人がいることに思いを馳せたことがありますか?  
 “一番言いたくないことは、一番わかって欲しいこと!”
- ② 6月定例議会。連合推薦6議員が紹介議員となった3件の請願(少人数学級の推進/義務教育費国庫負担2分の1復元/地方財政の充実・強化)が採択となり、政府への意見書提出が実現しました。
- ③ 国政では、憲法違反の戦争法案が衆議院を通過しました。憲法改正手続を経ずして解釈で改定する、これは立憲主義の否定であり、民主主義の根幹を揺るがす事態です。「戦争法案を廃案へ」この一点で今こそ幅広い連帯行動を!



議会の様子

## 勝田 鮮二 (せんじ)

鳥取市議会議員

-安定した雇用が確保され、みんなが豊かに安心して暮らせる鳥取市を実現します-

(議会での一般質問)

☆2015年2月・3月定例会質問(3件)

- ① IターンUターン者の促進活動について  
:現状の広報活動(県内・県外)。
- ② 工業団地の分散化と財政・財源について  
:現在の山の手、布袋(河原町)工業団地の現況。誘致企業・地場産業の現況と今後の取り組み又財政財源は大丈夫か。鳥取市東部地区へ一極集中を鳥取西いなば地区エリアへの分散化。
- ③ 高速通信網整備  
:現況の確認とスモールビジネス活性地域(高速通信網活用)と観光誘致(wifi活用)

☆6月定例会質問(3件)

- ① 新庁舎建設費UPと市民への説明について
- ② 工業団地の進捗状況について
- ③ 公共施設の実態について

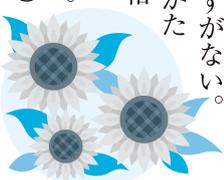


視察先での意見交換の様子(左から2番目)

# たんごんくわらね

戦後七〇年の今年。各組織は、それに伴う集會等に積極的に取り組まれていることと思う。私の組織も被爆地広島を要する中国ブロックとして、六月に集會を開き、鳥取からも約四〇人の組合員・家族が参加した▼広島平和公園の原爆死没者慰霊碑には「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」と刻まれている。これは、平和を誓うのは、全世界の人々でなくてはならない。という思いが込められている▼今、日本では、集団的自衛権の行使容認の閣議決定による安保関連法案の審議が国会の場でされている。日本はどこにむかっていくのか▼個人の思想や願望により、戦争ができる国となり、国民が巻き込まれることが許されるはずがない。その個人がたとえ首相であったとしても。

(米)



再生紙を使用しています